

No.1690

第1691 回例会

2015年10月30日(金) 12:30～13:30
点鐘

ロータリーソング“四つのテスト”

会食(和食)

会長挨拶

- * ビジター紹介。
- * 先日の日曜日、妻と郡家駅より若桜鉄道に乗って若桜に行ってきました。地区補助金プロジェクトより2カ月経ちましたが、駅構内および駐車場の植栽された花壇は花が大きく綺麗に咲いており、また若桜杉製ベンチもお客様に好評を得ておりますので、会員の皆様もどうぞご安心ください。

幹事報告

- * ガバナーエレクト事務所より、次期クラブロータリー財団委員長研修会・地区補助金管理セミナー開催のご案内。
12月13日(日) 12:30～米子全日空H
次期会長・幹事・R財団委員長に出席要請。
- * 例会終了後、次期理事会を開催いたします。
- * 11月の主なスケジュール
11月6日(金) 定例理事会
11月13日(金) クラブ奉仕委員長会議
11月21日(土) 東部5RCゴルフコンペ

委員会報告

- * 親睦・出席委員会
出席率・スマイル報告
 - * ゴルフ同好会 * その他
- 卓話「リサイクルを生業に
～鉄スクラップについて」
会員 牧浦康寛さん

先週(第1690 回例会)の記録

2015年10月23日(金) 12:30～13:30

会長会務

先週は職場訪問で石野石材さんにおじゃましてきました。非常に高価な墓石やお求め安い墓石まで沢山あり、勉強になりました。若い社員さんが働かれているのが印象的でした。

先日、観光マイスターを中心とした会社の勉強会で鳥取の歴史、観光を勉強しました。ちなみに旧鳥取市内で鳥取城跡や若桜街道、袋川桜土手などは日本百選の中に選ばれています。旧市内で3つ選ばれているのは、日本では鳥取市と宮城県仙台市だけで、青葉城、広瀬川、けやき通りだそうです。

そろそろ紅葉の季節です。船上山や鍵掛峠などに行かれて裏大山などをご覧になればとっても美しいです。この近くですと扇の山、氷ノ山、芦津深谷などでしょうか。

* ポール・ハリスフェロー 証書、バッヂ
平野敏和会員へ

* 第一回米山功労者 感謝状
岡本安量会員、平野敏和会員へ

幹事報告(副幹事代行)

- * ガバナー事務所より、2016年ロータリーソウル国際大会の登録・参加について。
当クラブは5名の登録者のデータを提供しなくてはなりません。参加希望の方があれば幹事まで。飛行機や宿泊の手配もガバナー事務所が代行してくれます。開会式は2016年5月29日です。
- * 次週例会終了後、次期理事会を開催いたします。
次期理事の方はご予定願います。
- * 週報訂正のお願い 職場訪問のところの
平野義一会員を平井義一会員へ

出席率

10月23日 会員48名欠席10名 78.72%
10月9日 メーキャップ 7名 82.98%

メーキャップ会員

10月20日 米村年博会員 鳥取北RCへ

スマイル

- * 金田卓也会員／認定こども園のおいも掘りがNHKにでましたので。
- * 田中章夫会員／くだらない卓話でお茶を濁します。
- * 吉田 博会員／田中章夫さん本日の卓話、楽しみにしています。
- * 岡本安量会員／山田さん、先日はおめでとうございます。お世話になりました。
- * 岡田信俊会員／平井義一会員、職場訪問ありがとうございました。
- * 平井義一会員／森本さん、大山平原の割引チケットありがとうございます。先日の企業訪問、ありがとうございました。社員共々、大変良い勉強になりました。お近くにお立ち寄りの際はお茶でも飲みまにいらしてください。
- * 葉狩弘一会員／①夫婦円満の秘訣はお互い干渉しない事だそうです。(結婚記念日) ②欠席が続きましたので。
- * 早退・無届欠席3件 合計13,000円

卓話「ロータリークラブの歴史と西クラブ」

会員 田中章夫さん

ロータリークラブは1905年にシカゴでポール・ハリスはじめ4名の方が集まって誕生しました。出来た当初はもちろん定款みたいなものはなく、翌1906年にシカゴクラブ定款というものが出来ました。それは会員同士の商売で利益の増大を図るのが第一の目標となっており、その為に親睦があり、シカゴ市の利益を推進する事を主とした同業組合的な集まりでした。その後、1908年にシェルドンという方が入会し初めて「奉仕の概念」を持ち込んだことで、それ以来ロータリーがどんどん変わっていきました。その後の定款の遍歴ですが、1912年の大会で「奉仕と倫理感を中心として、同時に会員相互の利益をはかる」という理念が導入されます。そして、1915年のサンフランシスコ大会あたりから決議23-34までの間、社会奉仕に対する考え方が非常に論争を呼びました。そして出来たのが1922年ロサンゼルス大会の綱領です。ここで初めて定款より会員同士の利益をはかるという事が除外され、職業を通じて奉仕の理想を実現するのだということになってきました。その時の綱領は今の綱領に近づいています。当時の会長が「ロータリアン自身がクラブの中で自己研鑽・切磋琢磨することによって人格を磨き自分を高める。例会を出たらロータリアン以外の人々に人格の功德を施し人格を高める。困っている人たちが求めている物をただ与えるような行動はロータリー本来的な奉仕にならない。その元になる奉仕の心を作ることが大切だ」と言っています。奉仕する心・人

を作るのがロータリーの本質だという事です。そして1951年に出来たのが現在の綱領であり、この前に飾ってあるものと同じです。その後ロータリーも転機が訪れ、1985年の80周年にポリオ・プラス計画が発表されました。これによって社会奉仕活動に大きく舵を切っていきます。1978年にはカリフォルニアで3名の女性会員を無許可で入会させてしまい、その為に国際ロータリーが認証を取り消しました。その後、起訴に発展しましたが1987年に敗訴となり、1989年には女性会員が正式に入会を認められることになりました。2001年に原則1業種1名という制度が5名に改変されました。これが大きなロータリーの流れです。

これからは西ロータリーの話しになりますが、1980年に鳥取クラブと鳥取北クラブをスポンサークラブとして実質32名でスタートしました。増田さんのお母さんが北クラブの事務局にいた為にわからない事は全てお母さんに聞いてもらっていました。我々のやり方は北クラブの影響が大きい訳です。合同例会も当時は我々と北クラブのみで行って行っていました。そして今の合同例会の形態になったのは、中央RCが出来てからになります。当時、大西会員と今もいる林会員に熱心に誘われて私は西ロータリーに入会しましたが、実は今でも青年中央会に入りたかったと思っています。そのころの出席率は6~7割の不良ロータリアンでした。西クラブは当時から夜間例会が盛んであり、昼と違って夜は二次会も含めて真面目に参加していました。当時の親睦委員長の松岡さんは素晴らしい方であり、今の形式のIDMを考案した方です。当時は国際ロータリーからファイヤーサイドミーティングの推奨がありましたが、家の広さの問題などがあり日本でやるには非常に困難でした。そこで松岡さんが親睦委員長の時に何人か毎に集まって飲みに行き、そこで話し合いをするという形でのファイヤーサイドミーティングを行ったのが今のIDMの元になりました。

今後の西クラブについてですが、例会の充実を図ってほしいと思います。そして皆さんにはクラブ運営への参加をお願いしたいと思います。また、過去に会報委員会で原稿を外に委託しようという話もありましたがそれはほしないでほしい。皆が苦勞しながら自分で書くという事がどれだけ大事かだと思います。各種催しにも参加してください。当然、基本にあるのは親睦と相互理解です。今後とも宜しくお願いします。

次週例会予定

2015年11月6日(金) 第1692回例会

卓話「風の町」

会員 山村保雄さん

(編集者 峰岸健一)